

上田ゆきこ

プロフィール

- 1981年富山県生まれ 音羽在住
- 富山県立高岡高校卒業
- お茶の水女子大学 文教育学部卒業
- お茶の水女子大学大学院 修士課程修了
- 2007年文京区議会議員初当選(25歳)
- 現在4期目(ずっと無所属)
- 所属委員会:総務区民委員会 議会運営委員会、
- 災害対策特別委員会 所属会派:創[sow](幹事長)

私達のための
文京区議会議員

無所属

4期の
実績

上田ゆきこ 議会活動レポート

vol.53
2022年4月発行



〒112-0003 文京区春日1-16-21-22階
info@uedayukiko.jp

あなたの
想いを聞
かせてく
ださい。

home page



face book



Twitter



令和4年度 予算成立

令和4年度 会計別予算対前年度比較 (単位:百万円、%)

区分	年度	令和4	令和3	増減額	増減率
一般会計		112,369	107,991	4,378	4.1
国民健康保険特別会計		18,974	18,643	331	1.8
介護保険特別会計		17,315	16,912	403	2.4
後期高齢者医療特別会計		5,679	5,322	357	6.7
合計		147,337	142,169	5,469	3.6

文京区の 財政状況



解説

一般会計規模は、1123億6900億円(前年度比4.1パーセント増)となり、過去最高です。
歳入は、区税は納税義務者数の増加や徴収実績により、前年度比2.6パーセント増359億9000万円となっています。
歳出は、児童福祉費の急激な伸びが緩まった一方、新型コロナワクチン等の衛生費は増となっています。

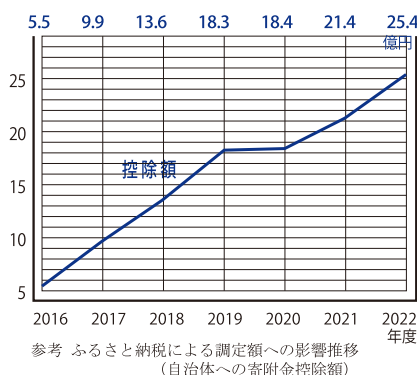
「ふるさと納税について、知ってほしいこと」 25.4億円の区民税が区外に!

ふるさと納税制度は、せっかく善意で寄付をしても、ふるさと納税サイト等に基本料・決済手数料合わせて寄付額の約1割弱、さらに返礼品購入額(寄付額の3割以内)、返礼品送料が経費として、消えてしまうしくみです。

また、地方交付税の不交付団体である文京区には減収分の補填はありません。

文京区では、子ども宅食プロジェクトやカイザー・スラウテルン市難民青少年支援、新型コロナウイルス感染症対策など、使い道を選べる寄付メニューを用意しています。

ふるさと納税影響額の推移(文京区推計)



令和4年度予算では、上田ゆきこが提案した多くの政策が実現しています。

Check!

詳しくは裏面へ

防災再確認

最近、地震が多くて心配…
というあなたへ!

防災士
上田ゆきこから
お役立ち情報!



1 “備え”の確認!

区のパンフレット等で、
防災情報をチェックしましょう。



2 防災ポータルサイトの活用!

令和4年4月にリニューアルし、
目的の情報にたどり着きやすくなりました。



3 助成制度の利用!

災害被害を減らすには、
自宅の安全対策が最も重要です。

家具転倒防止器具設置助成
区内住宅一戸につき一回限り、
上限2万円まで、転倒防止器具
設置にかかる器具購入・設置費
を助成します。

オススメ

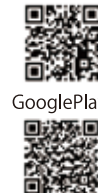


4 防災アプリのダウンロード

災害情報をプッシュ通知で
お知らせします。



Appstore



GooglePlay

区政セミナー

みんなの「今」を 幸せにする学校

5/14 (土)

14:00~16:00
(13:30開場)

無料

申し込み締め切り
5月10日(火)まで

会場: シビックセンター4階会議室B
講師: 熊本市教育長 遠藤洋路さん

定員: 20名
内容: 子どもも参画する校則改革、全国一斉休校に間に合ったICTによる授業改善、教育委員会ライブ配信など、大胆な教育改革で注目される教育長に新しい時代の学校像を語っていただきます。



人生100年時代を気分よく! ~都会でできる エコライフ~

5/23 (月)

19:00~20:30
(18:30開場)

無料

申し込み締め切り
5月20日(火)まで

会場: 文京シビックセンター5階会議室A
講師: 株式会社オレンジページ
代表取締役社長 一木典子さん

定員: 20名
内容: 家庭で取り組みやすいバッグ型コンポストなど、生活実装できるエコライフを提案するオレンジページ社長の一木さんに、料理や旅やエコライフとウェルビーイングの関係、これまでの生き方を活かしたオレンジページでの女性活躍推進の実践などを語っていただきます。



申し込み
方法

「セミナー名」「お名前」「連絡先」を明記の上、
右記アドレスにメールでお申し込みください。

info@uedayukiko.jp

シニアのフィットネス体験が年12回無料に!

コロナフレイル(心身機能低下)の進行を抑止し、地域での新たなつながりづくりのため、民間スポーツクラブとの連携により、健康運動指導士の指導によるシニア向けフィットネス教室等、効果的な体力づくりの習慣化をお手伝いします。
(令和3年9月本会議で提案)



令和4年度重点施策に上田ゆきこの政策提案が多く盛り込まれました。他にも、補助金検索システム、リスキングによる中小企業支援、エンカル消費啓発強化、ゼロカーボンシティ宣言、再生可能エネルギーの導入などが実現しています。まだまだ新たな課題に向けて取り組みを進めますので、皆様のお声をお寄せください。



怖がらない、認知症との新しい向き合い方へ!

認知機能テスト(自宅版)受診率向上のため、楽しいエクササイズ体験会などが行われます。軽度認知障害(MCI)で発見されれば、認知症の発症予防も可能。診断後も看護師によるフォローアッププログラムで進行抑止をサポートします。また、費用対効果を高めるよう提案してきた成果運動型民間委託方式(PFS)が区で初めて導入されます。
(平成28年9月本会議で提案)



テイクアウトでもプラスチックごみ削減へ!

文京食べきり協力店、文京ソコチカラ登録店舗の飲食店を対象に、テイクアウト等に使用している容器等をプラスチック製品から環境配慮型製品に切り替えた場合に、容器等購入経費の一部を補助します。
(令和2年度決算委員会等で提案)



ヤングケアラーに気づき、支援につなげる連携体制がスタート!

ヤングケアラー(家族にケアを要する人がいる場合に、本来大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子ども)に気づき、適切な支援につなげるため、福祉・介護職員、地域の担い手、教員等に対し、理解促進・連携体制強化事業が始まります。
(令和3年9月提案の意見書が全議員提出議案として関係機関送付)



より質の高い保育とコロナ後を見据えた待児童対策!

コロナの影響により、幼児クラス等に欠員が生じる場合にも、国基準の職員数を上回る保育士を加配し、保育園定員を確保するため、人件費の一部を区が独自に補助します。保育現場の負担軽減につなげ、充実した人員体制による、園児一人一人に合わせたきめ細かな保育が期待されます。
(令和3年9月本会議等で提案)



期間限定!! 区内美術館が無料※に! ※上限額あり

文の京ミュージネット加盟美術館等への来館者回帰とPRのため、入館料の補助が行われます(詳細は後日区報で!).他にも、年1回だった森鷗外記念館無料デーが、鷗外没後100年記念の今年は、7月9日(鷗外命日)を含む2回に増えます。
(令和3年11月総務区民委員会で提案)



生ごみ削減のためのコンポスト容器の助成が拡充!

これまでは大型のバケツ型など助成対象のコンポスト容器が少なく、利用が伸びなかった家庭用生ごみ処理機等購入費助成事業ですが、新たにバッグ型のコンポスト容器なども助成の対象になり、家庭でも取り組みやすくなります。
(資源環境部に直接相談)



教育 GIGAスクール端末の効果的な活用を

Q 調べ学習等に活用できるタブレット端末から接続できる電子書籍の学校図書館への導入と、児童の教科書等の持ち帰り負担の解消に期待されるデジタル教科書の検討を始めるべき。



A 電子書籍の普及状況、調べ学習等の学校教育への活用状況を踏まえ研究する。小学校6校、中学校3校が、デジタル教科書を試験的に使用している。結果等を踏まえ、導入を検討する。



防災 令和3年8月の関口一丁目 地域ガスの供給支障を教訓に、災害時の情報発信の改善を

Q 区の初動の情報提供が遅く、当該地域にお住まいの方が混乱された。第一報を迅速に共有し、SNS等の随時更新、スピーカーやチラシ、掲示板等、複数媒体を用いて情報をスピーディかつ確実に伝えてほしい。



A 東京ガスとの連絡体制や、事故を把握した後の、区からの情報提供、支援活動の初動対応に課題があった。今回の事態を教訓とし、区民生活に密着する関係機関との連絡体制の強化とともに、様々な手法での情報発信に努めていく。



子育て コロナ後の需要回復に備えた 保育園待機児童対策を

Q 区の待機児童数は落ち着いてきたが、コロナの影響が読みにくく、今後需要が戻る可能性がある。認可保育園を希望する方全員が入れるよう対策を継続すべき。



A 幼児クラスを中心に、欠員が発生している保育所も見受けられるようになりつつある。状況を踏まえながら、必要な地域に必要な定員を確保し、保育を必要とする方が適切に利用できるよう、引き続き、待機児童対策に取り組んでいく。



まちづくり 江戸川橋下流にも 神田川の桜並木の延伸を

Q 現在は江戸川橋より下流には桜並木がない。明治から大正にかけて、大曲辺りは桜の名所だった。周辺住民の街への愛着がより高まるようお茶の水・飯田橋方向へも桜の植樹を進めてほしい。



A 今後、植栽場所を確保できた際には、桜の植栽等を含め、景観に配慮した整備について、検討していく。



医療・スポーツ 区民一人一スポーツの推奨による 全世代での健康づくりを

Q 運動の習慣化は将来の健康寿命を延伸し、医療・介護財政の健全化につながる。区民一人一スポーツの推奨、民間スポーツジム等への利用補助など、健康づくりへの動機づけを強めては。



A 東京2020を契機に醸成された、スポーツに親しむ気運を一過性とすることなく、区民一人ひとりが目的やライフスタイルに合わせスポーツに親しめるよう、幅広く施策を展開していく。



多様性 パラリンピック難民選手団のホストタウンとして、より積極的な難民支援を

Q ホストタウン登録を契機に、苦難を乗り越え活躍する難民パラアスリートへの尊敬の気持ちは、区民の難民理解への関心を大きく高めている。支援の輪をレガシーとして広げてほしい。



A UNHCR等と連携し、子どもをはじめとした幅広い世代への難民問題の啓発活動や、カイザースラウテルン市の難民施設への寄附支援を継続していく。

